

第49回 令和2年

新潟県指定無形民俗文化財

三条かぐら鑑賞会

日時 10月4日(日) 午後1時開演

会場 三条市中央公民館大ホール

主 催 三 条 市
三条神楽保存会

プ ロ グ ラ ム

- | | | | |
|---|-----------|--------------|-------|
| 1 | 開会のことば | 三条神楽保存会会長 | 石月 恒雄 |
| 2 | 主催者あいさつ | 三条市長 | 國定 勇人 |
| 3 | かぐらの演舞 | (解説) 神明宮禰宜 | 三上 正行 |
| | (1) 宮清の舞 | 田 島 | 諏訪神社 |
| | (2) 地久楽の舞 | 保 内 | 小布勢神社 |
| | (3) 悪魔祓の舞 | 三 条 | 八幡宮 |
| | (4) 杵樹の舞 | 塚野目 | 白山神社 |
| | (5) 久奈戸の舞 | 大 崎 | 中山神社 |
| | (6) 宝剣作の舞 | 一ノ木戸 | 神明宮 |
| 4 | 閉会のことば | 三条市市民部生涯学習課長 | 恋塚 忠男 |

1 ^{みやきよ}宮清の舞

田 島 諏 訪 神 社

伶人一人で舞う。天照大神が須佐之男命すきのおのみことの乱行を怒り、天の岩戸におかぐれになられたその時、天児屋根命あめのこやねのみことが大神のお出ましを願うための祭りを行うべく、先ず大神なきあとの不浄を清めようと修祓の行事を行ったということに由来する舞で、神楽殿、参拝の人々の罪、穢れを祓い清める意味のものです。

【囃子】三拍子 【装束】毛頭（小）・狩衣 【面】翁 【採物】大麻



2 ^{ちきゅうらく}地久楽の舞

保 内 小 布 勢 神 社



天地長久を祝して天忍日命あめのおしひのみことが天岩戸の大前で、天地とともにみんなの安全を祈ったことに由来する舞です。

また、この舞は能狂言の「三番叟」さんぼそうの装束で鈴をもって舞う形が、それに似ていることから、俗に「さんばさ」ともいわれています。

【囃子】大満
【装束】大烏帽子・子大毛頭・金襴大狩衣・大口
【面】悪魔祓面
【採物】鈴

3 あくまばらい 悪魔祓の舞

三 条 八 幡 宮

天孫の降臨に先立ち、フツヌシノミコトが中津国の荒ぶる神を打ちしずめるために努力されたことにちなんだ舞で、神刀の威力で邪気を祓い、世の中の安泰を祈るものです。

フツは、刀剣の鋭く物を立ち切る音の擬声語で、諸々の悪を刀剣で断ち切ることを象徴した舞です。

【囃子】悪魔祓拍子

【装束】金欄法被差袴毛頭（大）

【採物】剣



4 ぞうぎ 杵樹の舞

塚野目 白山神社

二人で舞います。中津国の荒ぶる神たちを鎮めるべく、弓矢を持つ武甕槌命たけみかずきのかみが天下り、火の神かぐつちのかみ迦具土命と協力して中津国の安泰をはかったことにもとづく、天長地久四方泰平を祈る舞いです。

弓矢は武力による邪悪の平定を意味し、杵と飯しゃもじは、食を充分に与えて民の生活を豊かにすることをあらわしています。

【囃子】三拍子、しゃぎり 【装束】

武甕槌命一立烏帽子・狩衣、迦具土命一彦姿

【面】武甕槌命一杵樹面、迦具土命一彦面 【採物】武甕槌命一弓・矢、迦具土命一杵・飯しゃもじ



5 久奈戸の舞

大崎 中山神社



伊邪那美尊^{いざなみのみこと}が数々の神々をお生みなされ、最後に火の神をお生みになった時、大火傷を負われ、亡くなりました。夫の伊邪那岐尊^{いざなぎのみこと}が「黄泉国の私の所に来てはいけません」という伊邪那美尊の言葉を忘れ、見るに耐えない女神の姿をご覧になり、黄泉醜女^{よもしつこめ}に追われました。

この舞は、伊邪那岐尊が黄泉平坂まで逃げ、桃の枝を折り、実を投げて難をのがれた様子を模したものです。

【囃子】彦だけの時は「シヤギリ」、久奈戸神が加わると「大満」 【装束】彦一毛頭・千早・立付袴、久奈戸神一大毛頭・大狩衣・大口 【面】彦一彦面、久奈戸神一悪魔掃面 【採物】彦一剣、久奈戸神一桃の枝又は榊の枝

6 宝剣作の舞

一ノ木戸 神明宮



三条小鍛冶宗近が時の天皇の命により、宝剣を作るにあたり、稲荷の大神の神助によって完成するというもので、三条では鍛冶舞とも呼ばれています。

【囃子】しゃぎり、大満、槌を打つ時は宝剣作の拍子

【装束】宗近一立烏帽子・狩衣・切袴・襷 相槌一舟型烏帽子・狩衣

衣・立付袴・襷 神使一白毛頭・狩衣・差貫稲荷一稲荷頭・大毛頭・狩衣・大口

【面】宗近一宗近面 相槌一彦面 神使一白翁面 稲荷一智王面

【採物】神使一剣 小道具一ふいご・金床・大槌・小槌・三宝